

「踊りに行くぜ!!」 Ⅱ セカンド vol.3

We're Gonna Go Dancing!! Ⅱ

新作制作から上演までをフルサポートするプロジェクト

< 作品制作費の支給 + クリエイションの環境提供 + 全国巡回公演での作品上演 >



<http://odori2.jcdn.org>

★各地のダンス・イン・レジデンスの記録、アーティストのブログなど、日々の作品制作の様子をWEBで紹介していきます。

“ダンス作品”のつくりかたを 発明するプロジェクト!

私たちに生きる力と想像力

かけがえのない大切な価値をあたえてくれる

そして、世界の価値観そのものにさえ影響をあたえることのできる

そんな“ダンス作品”をつくりだしたい。

そのために本プロジェクトで、同時代の作家たちが挑むオリジナルな
新作づくりを全面的にサポートしていきます。

2013年1月20日(日) 14:00 / 19:00 (開場は開演の30分前)

生活支援型文化施設 **コンカリーニョ** 札幌市西区八軒1条西1丁目2-10

[<http://www.concarino.or.jp>]

料金◎一般 前売2,500円/当日3,000円、学生 前売1,500円/当日2,000円

コンカリーニョメルマガ会員 2,000円(要予約)

取扱◎ローソンチケット[Lコード:12911]

<http://dance.jcdn.org/>

予約・問合せ◎NPO法人コンカリーニョ TEL/011-615-4859 メール/mail@concarino.or.jp

宣伝写真:大橋 勲

文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
主催:文化庁、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)
助成:Asahi アサヒグループ芸術文化財団 公益財団法人セゾン文化財団
協賛:トヨタ自動車株式会社
協力:Asahi 株式会社
稽古場提供:トヨタ創造空間プロジェクト

全体企画・制作:
NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク JCDN
〒600-8092 京都市下京区神明町241 オパス四条503
TEL 075-361-4685 FAX 075-361-6225 E-Mail jcdn@jcdn.org
JCDN web <http://www.jcdn.org/>

共催・制作:NPO法人コンカリーニョ
後援:札幌市、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)
(公財)北海道文化財団



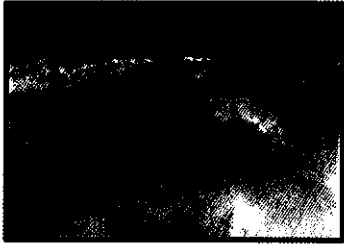
A

ダンスプロダクション・サポートプログラム

【作・演出家／作品に必要な構成メンバー(美術・音楽・映像など)を編成し作品制作を行います。】

House the homeless

【出演地】札幌 福岡 京都 東京



今回初のダンス作品を作ります。ダンスの舞台美術を手掛けてきましたが、演出という形で制作する事は初めてで、ダンスをやってきた人の作るダンス作品とは違った視点で、新しい表現ができるのではないか、と考え、挑戦します。

「ある日ホームレスという人になった住所のない、人。それでも私は生きる生きるために服を着て、働いて、食事をする段ボールで家を建てて住むそして目をつぶって夢をみるそして明日を待つ次の日も」

身体という事実を布で覆い隠し、視点を隠した事によって現れる、事実とは違った身体をホームレスに重ね、踊ります。

作・演出・美術：カミイケタカヤ
振付・出演：加藤千明、渋谷陽菜
音楽提供：熊地勇太

カミイケタカヤ (香川)



高校卒業後、舞台美術の仕事を始め、その技術や経験を用いて作品を製作。「時間の経過」という人間の故意では行えない事と「拾う」という偶然性の事を主軸として元来の舞台美術の製作方法とは反対の方向より舞台美術作品を製作する。また同様の形で平面作品、インスタレーション作品も制作。近年では2010年高松市美術館「高松コンテンポラリーアート アニュアルvol.01」、2011年山下残演出作品「庭みたいなもの」にて舞台美術作品を発表。その他、個展グループ展多数。2012年ダンスカンパニー「nibroll」(<http://www.nibroll.com/>)

B

リージョナルダンス・クリエイション・プログラム

【振付家／演出家1名が札幌に滞在し、地元で募った出演者と新作を制作し上演します。】

Endless Steps SAPPORO

【出演地】札幌



フィジカルに。絶望と希望をにぎりしめまだまだ続いていく旅の途中でまた出会い、また別れるある日、ある時、そこにいたあなたとわたし、そこにあった言葉と身体踊りましょう、お話ししましょう、乱反射する光を使ってステップの数だけ顔がありステップの数だけ過去があるステップの数、それは死の数ステップの数、それはお母さんの数二匹のオオカミがじゃれあうように熊と鮭が落ち合うようにこのまぼろしのダンスホールであらゆる感情が現れては解け合って

作・演出・振付：山田勇気
振付協力：高原伸子
出演：牛島有佳子、小川恵子、柴田謙子、東海林靖彦、福村まり、堀川那奈子、明道祐子、森崎拓

山田勇気 (東京)



虚構のダンスホール「Endless Steps SAPPORO」で繰り広げられる人間模様。老いも若きも男も女も今夜だけ、夢のステップを踏むまどか。

北海道は根室で生まれ、札幌で育つ。北海道教育大学函館校在学中、清水フミヒトに出会いダンスをはじめ。2005~09まで金森雅彦監督「Noism」に所属。退団後、日野晃に武道の身体性、関係性を学ぶ。2010、12年、研修生カンパニー「Noism2」へ新作を振付。2010年からは、小尻健太、児五北斗と「Project POINT BLANK」を結成し、公演、WSなどでも活動中。昨年2011年度「踊りに行くぜ!! II vol.2」で、青木尚哉作品「4...soku」に振付・出演として参加し、札幌公演でも上演。

再

再演作品 【2011年度 vol.2 Aプログラムより、再演。】

MESSY



どうしても無い現実まぶち当り目の前の景色に焦点が合わなくなる。怒りと悔しさと不甲斐ない自分に叫びたくなる。

世界は甘くなく、そのリアルさにクラッとして必死に脳を整理しようとするが上手くいかず、いつも地団駄を踏む。それでも私は自分のちっぽけな絶望と希望のひとつひとつを受け止める。痛いくらいに。

誰もがどっちらかった頭の中を抱えて必死に立っている

3人の暴走迷走ストーリー

作・演出：菅原さちる
振付・出演：田中夢、緒方祐香、菅原さちる
音楽：菅田典幸
ドラマトウルク、内田敦子

菅原さちる (東京)



東京都出身。2005年現代舞踊公演にて地主律子作品への参加を機にダンス活動を開始。2010年まで705 Moving Co (主宰：菊地尚子) のカンパニーメンバーとして活動。その後、ソロで創作活動始める。2010年には飯名尚人と共に演劇バンド「marga」を結成。最近ではショーの踊り子の体に興味を持ち、自身でも金粉ショーのダンサーとして「混浴温泉世界」をきっかけに生まれたゴールデンショウチーム「THE NOBEBO」に参加。

当

ご当地プログラム

13番目の月



教文コミュニティダンス部ではこの一年間を通し、毎月一回計12回この作品のためのワークショップを行ってきました。その全てのパーツを集めて紡いだのがこの「13番目の月」という作品です。ダンサーも主婦も子どもも、ミュージシャンも女子高生も皆同じ空の下で産声をあげる。そして誰かが生まれた日には輪になって喜び祝い踊る。やがて津波によって故郷を失い、家族を失い、嘘の神話を失った。残った仲間たちと火を囲み、上着を掛け合い、余った靴下を手袋にし、夜明けを待つ。この一年で教文コミュニティダンス部の活動に参加してくれた方は300名を超えます。その中で私たちは皆が一つのグルーブとなって存在する事のできるダンスを探してきました。その私たちがの答えが「13番目の月」です。

作・演出：櫻井ひろ
監修(アドバイザー)：木野彩子
ファシリテーター：たかはしちひろ、岩澤たかこ
音楽：亀川朗 ham
出演：石井かほ、和泉結香、植松亮、佐藤佳代、佐藤未菜、セリナ、津田いつみ、堀内まゆみ、堀内花音、宮脇誠、村田ひろ美、たかはしちひろほか

札幌教文コミュニティダンス部

櫻井ひろを代表とし、札幌市教育文化会館(教文)の主催事業でファシリテーター(指導者)育成プログラムから派生した教文を拠点に活動するコミュニティダンスグループ。グループメンバーはダンサー、役者、サラリーマンに主婦、女子高生、障害者、高齢者など多岐にわたる。2010年結成後、月一ダンスワークショップを中心に、札幌市内の学童保育所、高齢者施設、病院、被災者イベントでのアウトリーチを通じ「誰もが参加できる新しいダンス」の普及を目指して積極的に活動している。ダンス作品「過去でもなく未来でもなく現在(いま)を生きる私たちについて」を「踊りに行くぜ!! II vol.2」教文ダンスシンポジウム「ダンスコミュニケーションの現在」で発表。